

第3回在宅医療シンポジウム ～地域のかかりつけ医が面で支える在宅医療～ シンポジウム2
2026年3月1日(日)

プライマリ・ケア医が支える 医療的ケア児・者の地域包括ケア

医療法人いちのせファミリークリニック 一ノ瀬 英史



プライマリ・ケア医が支える 医療的ケア児・者の地域包括ケア

本日の内容

1. プライマリ・ケア医について
2. 医療的ケア児・者の地域包括ケア
3. 移行期医療と移行後



いちのせファミリークリニック

いちのせ ひでふみ
一ノ瀬 英史

開示すべきCOIはありません

- 福岡県大川市（筑後地区）
- 人口約3万人
 - 15歳未満 約3,400人
- 高齢化率37.2%
- 15歳未満 約1割
- 機能強化型在宅療養支援診療所
- 外来診療（全年齢）
- 在宅医療（全年齢）
 - 約100名
 - 小児10~12名
- 予防医療
- 地域保健



プライマリ・ケア医

年齢によらず、疾患によらず、患者の抱える問題の大部分に対処し、継続的に地域に向けて開かれたヘルスケアを提供する



Case 1 6歳 女児

13トリソミー、難治性てんかん、重度運動知的発達遅滞（超重症児）

37週5日、2188gで胎児機能不全で緊急帝王切開で出生。顔貌等から遺伝子検査の結果13トリソミーと診断。

生後4ヶ月 気管切開＋人工呼吸器管理開始、経鼻経管栄養
両側股関節脱臼、左膝関節脱臼、関節拘縮

医療的ケア：気管切開、人工呼吸器、排痰補助装置、モニター、
経鼻経管栄養、排泄管理（浣腸）

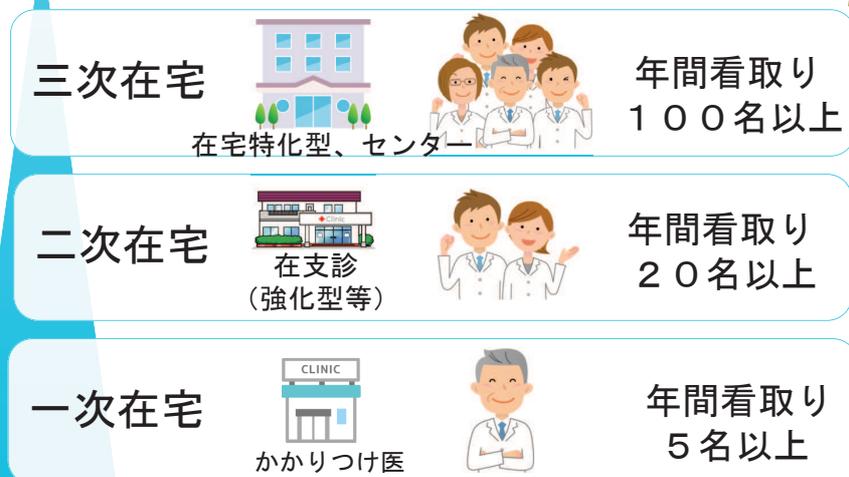
医療チーム：基幹病院 新生児科、耳鼻咽喉科、整形外科
在宅医（当院）

訪問看護ステーション 看護師・リハビリ

地域チーム：相談支援専門員、児童発達支援、保健師（行政）



在宅医療の層



小児在宅医療の
担い手

在宅専門医

プライマリ
・ケア医



プライマリ・ケアの特徴

primary care とは、患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で責任を持って診療する臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービスである

1996年の米国国立科学アカデミー (National Academy of Sciences, NAS)が定義したもの
日本プライマリ・ケア連合学会ホームページより (2026/2/1 access)

Accessibility
近接性

Comprehensiveness
包括性

Coordination
協調性

Continuity
継続性

Accountability
責任性

プライマリ・ケアの5つの理念



7

プライマリ・ケア機能を評価するための特徴

Starfieldの4+3

特有の特徴

- First contact care
- Longitudinality
- Comprehensiveness
- Coordination(Integration) of care

派生的な特徴

- Family centered
- Cultural competence
- Community oriented

特有ではないが必須の特徴

- Medical record format
- Continuity of care
- Practitioner – patient communication
- Clinical quality of care
- Advocacy for patients

Barbara Starfield 1992年、1998年
岡田唯男 プライマリ・ケア. 2017 ; 2(2) : 56より



8

プライマリ・ケア医の医療的ケア児・者への関わり

- 疾患背景・病態理解に沿った伴走
 - 日常の疾病管理・健康管理を病院主治医と連携して進める
 - デバイス管理や生活アドバイス
 - 急性期対応（程度は様々）
 - 予防接種、乳幼児健診
- Family Stageに沿った関わり
 - 家族内イベント
 - 就園・就学、園・学校イベントへの助言・支援
- 多職種や地域との連携
 - 医療チーム・福祉チームの融合

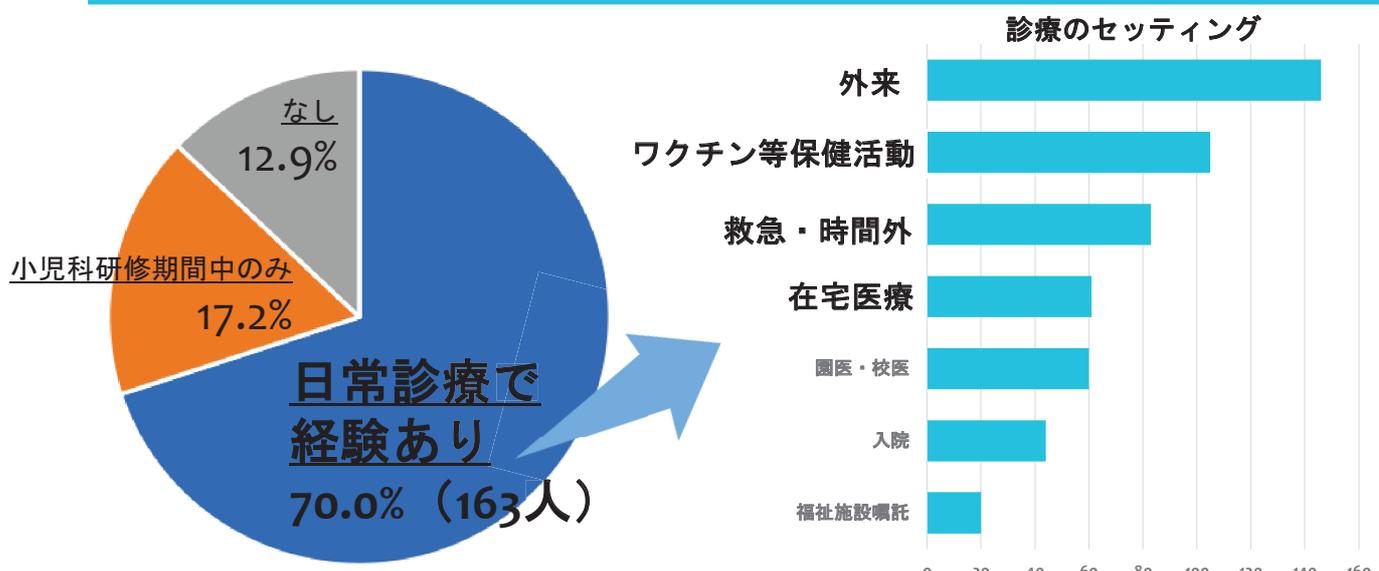


「地域に暮らす子」をプライマリ・ケアが下支えする



プライマリ・ケア医の小児期発症慢性疾患の診療経験について

プライマリ・ケア連合学会に所属する医師（家庭医療専門医・専攻医を含む）233名
（学会員2.2%、2019年2月現在）

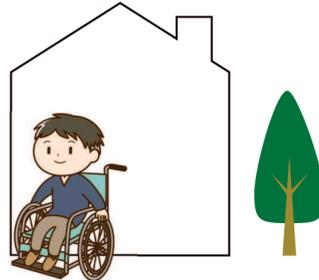


在宅医療の包括ケア

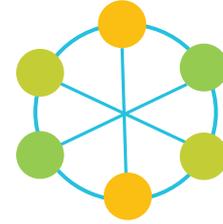
急性期～慢性期～看取り期



疾患を問わず



多職種連携



小児から高齢者まで



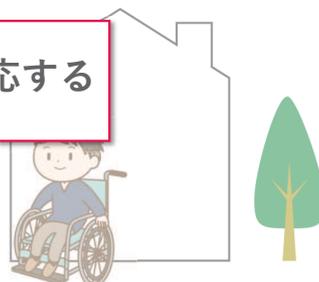
在宅医療の包括ケア

急性期～慢性期～看取り期



フェーズに応じて
フェーズを見越して 対応する

疾患を問わず



多職種連携

福祉・教育・労働
地域社会との連携



小児から高齢者まで

全人的でジェネラルな
在宅医療



様々な医療的ケア児

- 呼吸管理
 - 気管切開、人工呼吸器、在宅酸素、痰の管理
- 栄養管理
 - 嚥下食、経鼻胃管、胃ろう
- 排泄管理
 - 導尿、浣腸、ブジー
- 薬剤・ルート管理
 - 中心静脈カテーテル、皮下注射、髄注、シャント
- 薬剤（多剤併用）

医療的ケアの種類



- 寝たきり（全く動けない～手足は動く）
- いざり
- 歩ける
- 走れる

運動能力



- 意思表示困難
- 話せる
- 理解できる
- 判断できる

知的能力



- 核家族
- 2～3世帯
- 兄弟・姉妹
- ペット

家族状況



- 病院
- クリニック
- 歯科
- 薬剤師
- 訪問看護
- 訪問リハビリ
- 保育・教育
- 行政

医療・福祉チーム



13

様々な医療的ケア児

Lennox Gastaut症候群 7歳男児



18トリソミー 2歳



CHARGE症候群 2歳男児



学校現場との連携

療育（発達支援）との連携

働きたい親は働けているか？



14

医療的ケア児への地域包括ケア体制をどのレベル感で進めるか？ 特に過疎地域



東京都 (同縮尺)



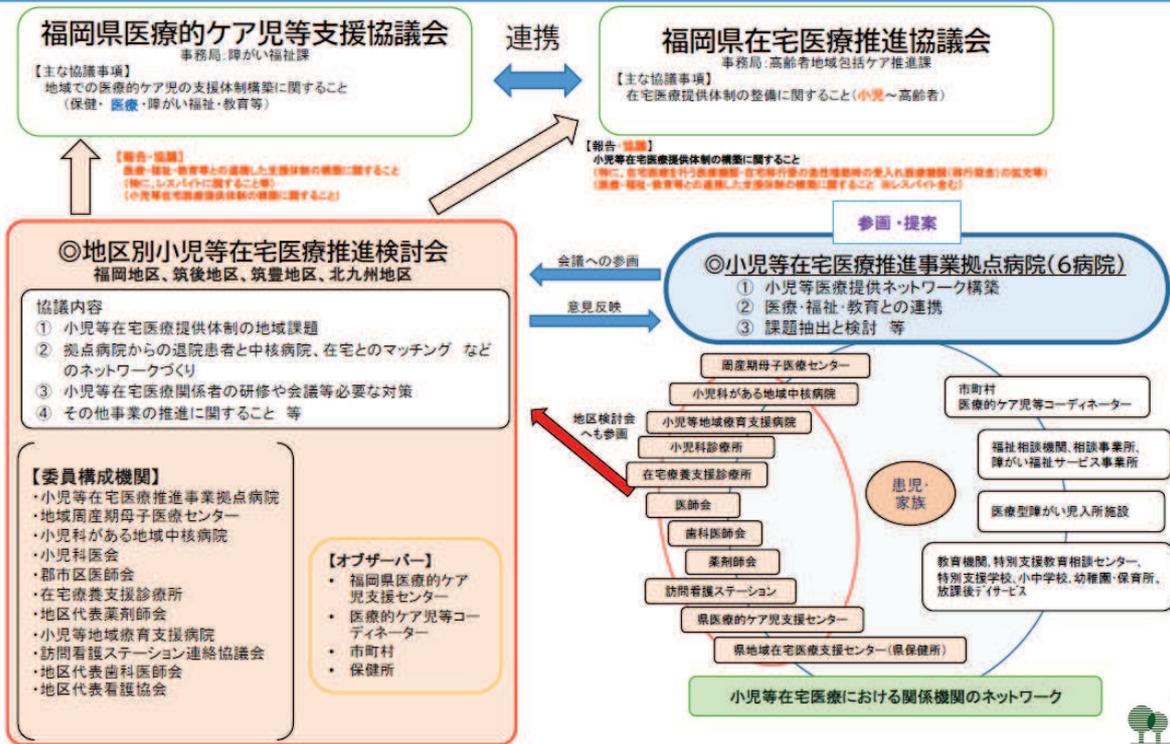
医療的ケア児への地域包括ケア体制をどのレベル感で進めるか？ 特に過疎地域



全国	医療的ケア児	約2万人
福岡県	医療的ケア児	1307人
	R4年福岡県小児等在宅にかかる「医療資源調査」	
	訪問診療利用	663人
筑後地区		99人
	R7年福岡県在宅療養支援診療所等調査 (回答率97%)	



福岡県小児等在宅医療の推進体制(R7年度～)



医療的ケア児への地域包括ケア体制をどのレベル感で進めるか？ 特に過疎地域



全国	医療的ケア児	約2万人
福岡県	医療的ケア児	1307人
	R4年福岡県小児等在宅にかかる「医療資源調査」	
	訪問診療利用	663人
筑後地区		99人
	R7年福岡県在宅療養支援診療所等調査(回答率97%)	

筑後地区の小児在宅医療は、9割を3つの診療所でまかなっており、いずれも家庭医や総合診療医が担当する

医療的ケア児への地域包括ケア体制をどのレベル感で進めるか？ 特に過疎地域



全国	医療的ケア児	約2万人
福岡県	医療的ケア児	1307人
	R4年福岡県小児等在宅にかかる「医療資源調査」	
	訪問診療利用	663人
筑後地区		99人
	R7年福岡県在宅療養支援診療所等調査（回答率97%）	

保健所（二次医療圏）レベルでの
医療的ケア児者の地域包括ケアを展開する
べきではないか



医療的ケア児・者の 移行期医療におけるPC医としての役割

- 成人移行支援
- 医療チームの転医における、
トランジションチャンピオン
- 自立・自律支援
- 患者・家族が抱える諸問題の解決や共有
- ACP、共同意志決定、代理意思決定
- 小児科側への適切なフィードバック

脳性麻痺 19歳女性



医療的ケア児・者の 移行期医療におけるPC医としての役割

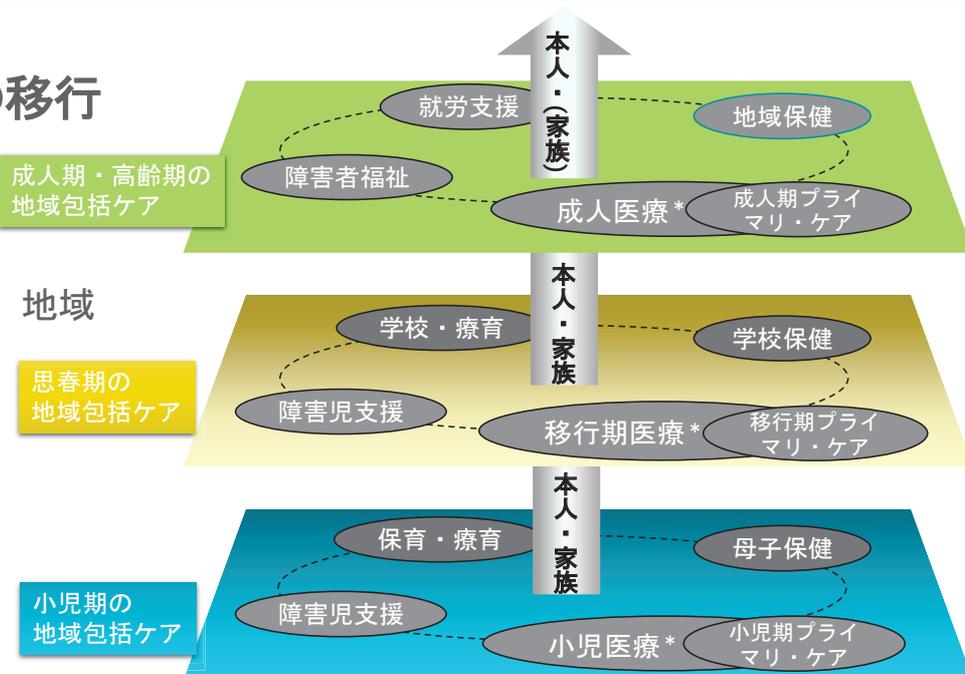
- 成人移行支援
 - 医療チームの転医における、
トランジションチャンピオン
 - 自立・自律支援
 - 患者・家族が抱える諸問題の解決や共有
 - ACP、共同意志決定、代理意思決定
 - 小児科側への適切なフィードバック
 - 保護者の介護負担
 - 本人の就労や社会参加
 - 保護者の高齢化
 - 親離れ、子離れ = 自律・自立
 - 就労可能か？
 - 親亡き後の事を検討する
- e.t.c.



地域包括的ケアの移行

各ステージにおける、地域
包括ケアシステムを
地域に張り巡らせ、
シームレスに移行

どのステージでも
地域医療チームの
ハブとしてPC医は重要



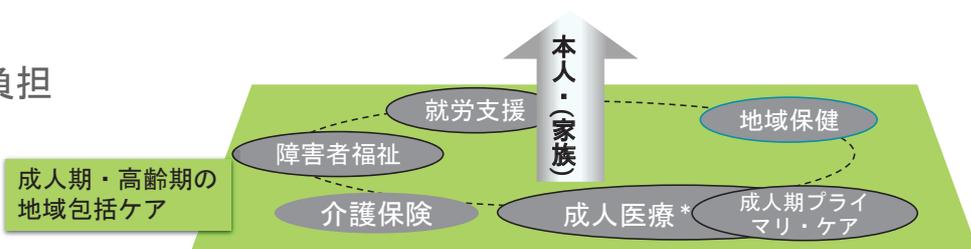
地域包括ケアのシームレスな移行

* 医療には看護やリハ、薬剤などを包括する



移行期医療の移行後

- 成長発達から、生活習慣病や老いを見据えた医療（在宅医療）
- 急性期の体制づくりをすることで、平常が平常たりうる
- 自立・自律支援
 - 社会参加や夢の実現
 - 就労（継続）支援
 - 成年後見人制度
- 親の高齢化・介護負担
 - 在宅での生活継続
 - 施設入所



まとめ

- プライマリ・ケアの特徴
- 「地域に暮らす子」をプライマリ・ケアが支える
- 地域包括ケア体制のレベル感
- 移行期医療でのコアと、移行後の役割

